

これまでに出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置を受けた患者さんへ

【出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置の調査へのお願い】

宇都宮病院消化器内科では「出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置後の再出血症例の検討」という観察研究を行う予定です。この研究は、出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置後の再出血症例の特徴を検討して、再出血リスクを予測することを目的としています。そのため、過去に出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置を受けた患者さんのカルテ等の診療データを使用させていただきます。以下の内容を確認してください。

○今回の調査研究は、2013年1月から2018年7月までに出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置を受けた患者さんの診療記録が対象です。

○過去の記録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びに危険性は全くありません。また、患者さんへの直接的な利益はありませんが、研究の成果は、出血性胃潰瘍に対する内視鏡的止血処置後の再出血リスクなど予測するのに有益となる可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人名や住所は含まれておらず、その他の個人情報に関しては、宇都宮病院が厳重に管理します。また、研究で使用したデータは、当該研究の結果の最終の公表について報告された日から5年を経過した日まで保管します。保管期間終了後は、適切な方法で廃棄します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

○この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。

○この調査研究は宇都宮病院倫理審査委員会で審査され、承認を受けて行われます。

研究期間:2013年1月 ~ 2018年7月まで

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構宇都宮病院 消化器内科

研究責任者 前田 光徳 TEL: 028-673-2111